

令和7年9月4日(木) 網走タイムズ

嘉南薬理大の訪問団が来網



市内農業や介護を視察 東農大のコーディネートで

台湾・嘉南薬理大の訪問団がこのほど来網。道東の農業や介護事業などを視察した。東農大オホーツクキャンパスは、過去に同大と連携協定を結んでいたことから、網走市の視察をコーディネート。表敬訪問では互いに記念品を交換するなど、旧交を温めながらの視察、案内となつた。

(伊藤)

一行は、生活保健科技術系の陳昌晟教授ら大らが出迎えた。学関係者のはか、台南市農業従事者や高雄市社会福祉士などの17人。バスで到着した

一行は、千葉晋学部長は「嘉南薬理大は、医療分野をリードする大きな大学。今日をき

ちは」と日本語であります「みなさん、こんなに

つかけに、また交流が深まれば」と歓迎の言葉を述べた。これを受け、陳教授は「みなさんは、これまでに、嘉南

薬理大は来年60周年を迎えて、うれしい。嘉南環境学など30の学部がある。これからも、いろんな分野で交流したい」と、両大学の今後に期待を込めた。

この後、両者は記念品を交換。さらに東農

大から日本の書籍や漫

画本などのプレゼント

もあり、一行はもてなしに感激していた。

食香料化学科の佐藤

広顯教授の案内で、一

行はキャンパス内を視

察した。

オホーツクキャンパ

スの施設は、冬でも問

題なく移動できるよう、各棟が2階通路でつな

がつていると聞いた一

行は「なるほど」とう



オホーツクキャンパスの研究室を見学する嘉南薬理大の一行会や網走福祉協会の介護施設を見学。市内東部地区の農業地帯でドローンや自動操舵のトラクター、衛星画像を利用した農作業など、市内の最先端農業を視察。6日間の日程を終え、女満別から新千歳を経て帰国した。

授(右)と千葉晋学部長

記念品を交換する陳教授

さつ。さらに「訪問で嘉南薬理大は来年60周年を迎えて、うれしい。嘉南環境学など30の学部がある。これからも、いろんな分野で交流したい」と、両大学の今後に期待を込めた。

この後、両者は記念品を交換。さらに東農大から日本の書籍や漫画本などのプレゼントを受けたが、ちょうど中国から同キャンパスに留学している大学院生が研究室において、研究の内容や網走での生活などを説いていた。

一行は同キャンパスに、一行から質問攻めにあつていた。

一行は同キャンパスを訪問した翌日、緑明

オホーツクキャンパスの研究室を見学する嘉南薬理大の一行